学年	高校１年	教科	国語	科目	言語文化	単位数	3
教科書名	高等学校 言語文化 (第一学習社)			副教材名	読んで見て覚える 重要古語単語 315 三訂版 (桐原書店) 新精選 古典文法(東京書籍) 基本セミナー　漢文入門(浜島書店) 漢文名分文選故事成語編（筑摩書房） 古典文法習得のためのマスターノート（数研出版）		
コース・クラス	中高一貫						

Ⅰ．目標

1　国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高める。
2　思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
3　書かれたものに触れることで、思想や人間のありようを知る。

Ⅱ．授業のねらい

1　国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深める。
2　目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めること。
3　相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めること。
4　文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させること。
5　伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けること。

Ⅲ．授業の進め方

1　文章内容の理解を主とし、発問形式による教授方法やグループ学習によって学習を進める。
2　図説等の副教材を適宜活用し、確認テストを実施する。
3　古文では、『新精選 古典文法』を活用して文法事項を学習し、漢文では、『漢文名分文選故事成語編』等を使用する。

Ⅳ．学習上の留意点

1　教科書の新しい単元に入る際は、予習として意味調べや漢字の書き取り、作品の通読を行うこと。
2　授業中には、板書や必要な情報をノートに書くこと。
3　配られた資料は、ノートに貼るかファイリングをし、必ず保存管理すること。
4　毎時教科書、ノート、副教材を授業前に準備し、机上に置いておくこと。

Ⅴ．定期試験（状況によって変動する場合がある）

・一学期中間試験……古文基礎復習（助動詞）・『竹取物語』・『十八史略』・初見問題
・一学期期末試験……古文基礎復習（助動詞）・『伊勢物語』・故事成語・初見問題
・二学期中間試験……『土佐日記』・故事成語・助動詞の識別・初見問題
・二学期期末試験……『論語』・『和泉式部日記』助動詞の識別・初見問題
・学年末試験　　……『枕草子』・『徒然草』・敬語・漢詩・初見問題

Ⅵ．評価の方法

1　定期試験・進研模試・スタサポ…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
2　小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
3　提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	・『竹取物語』 ・助動詞 ・『十八史略』 ・『伊勢物語』 ・故事成語	・定期試験 ・進研模試 ・スタディサプリ到達度テスト ・小テスト ・提出物	歌物語の読み方 1.　歌物語の構造を理解する。 2.　歌の意味を理解する。 3.　史的背景を把握する。 漢文 1.　論理的に読む方法を知る。 2.　知識を深める。 3.　中国史的背景を学ぶ。 4.　句法や熟語を学ぶ。
二学期	9 10 11 12	・『土佐日記』 ・助動詞の識別 ・故事成語 ・『論語』 ・『和泉式部日記』	・定期試験 ・進研模試 ・スタディサプリ到達度テスト ・小テスト ・提出物	日記の読み方 1.　構造を理解する。 2.　文化を知る。 漢文 1.　孔子の思想を学び、理解する。 2.　句法の復習をする。
三学期	1 2	・『枕草子』 ・『徒然草』 ・敬語 ・漢詩	・定期試験 ・進研模試 ・小テスト ・提出物	随筆の読み方 1. 当時の人々の生活の様子や物の見方を知る。 漢詩 1. 漢詩の形式を理解し、詩に込められた意味を理解する。

※　シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により変更することもあります。